

平成22年1月1日

第69号

鵜 戸

謹賀新年



遷宮で 結ぶ人の輪 心の輪
第六十二回神宮式年遷宮

887-0101

宮崎県日南市宮浦3232番地

0987-29-1001 FAX0987-29-1003

鵜戸神宮ホームページ

<http://www.btvn.ne.jp/~udojingu/>

発行者兼編集者
鵜戸神宮社務所

謹んで新春のお慶びを申し上げます



宮司 本部 雅裕

輝かしい新年にあたり、皇室の弥栄を心から祈り申し上げます。また、氏子の皆様をはじめ、全国から当神宮に崇敬の誠を捧げていただき、お健やかに新春をお迎へのことと存じます。平成二十二年が皆様にとりまして益々良い年であり、ますます祈念申し上げます。

類」について、その調査を作成して差し出すよう命じたものであり、これに答へ鶴戸神宮は、当時の宮司「子爵伊東祐典」の名で、由緒等「御陵墓伝説地」の調査報告書に添へて境内一帯の見取図及び宝物図を提出してあります。

また、氏子の皆様をはじめ、全国から当神宮に崇敬の誠を捧げていただき、お健やかに新春をお迎へのことと存じます。平成二十二年が皆様にとりまして益々良い年であり、ますます祈念申し上げます。

この調査があった明治二十八年は当神宮にとつて、社格が官幣小社から官幣大社にご昇格になりました。また「吾平山速日峯」が「御陵墓伝説地」に指定されるなど、記念すべき時でもあります。

さて、鶴戸神宮の社地は、山と海との風光に恵まれ、山幸・海幸の豊かなところでございますが、その広さは約十二万坪あり、「千古斧をいれ」ない霊峰と伝へられております。その最高峰は海拔一五〇mの吾平山速日の峯です。宮崎方

この調査があった明治二十八年は当神宮にとつて、社格が官幣小社から官幣大社にご昇格になりました。また「吾平山速日峯」が「御陵墓伝説地」に指定されるなど、記念すべき時でもあります。

新嘗祭 【子供神楽奉納】

十一月二十三日、今年収穫された新穀を神々に捧げ、産物を得られたことへの神恩に感謝するこの祭典に、責任役員・総代はじめ一三〇名が参列。午前十時三十分より斎行された。



は、お米やお酒・和菓子など多くのご奉納があり、ご社殿に彩りを加へた。



子供神楽

現在、洞内の末社「皇子神社」には、神武天皇の御兄君（彦五瀬命）がご鎮座されてをります。明治維新後に、地元の地区より洞内へとお移し申し上げました。

昭和五十年十月十三日に、地元の住民からの要望もあり、お旅所となつてゐた元の鎮座地へ分霊鎮座祭が行われました。このご鎮座を記念して考案されたのが「子供神楽」であります。

以後、神恩感謝の意を込めたこの神楽は、地元鶴戸小学校の生徒によつて受け継がれ、新嘗祭で奉納されております。

神の舞

長友克仁・長友望恵

献穀の舞

松田瑛司・外山美琴

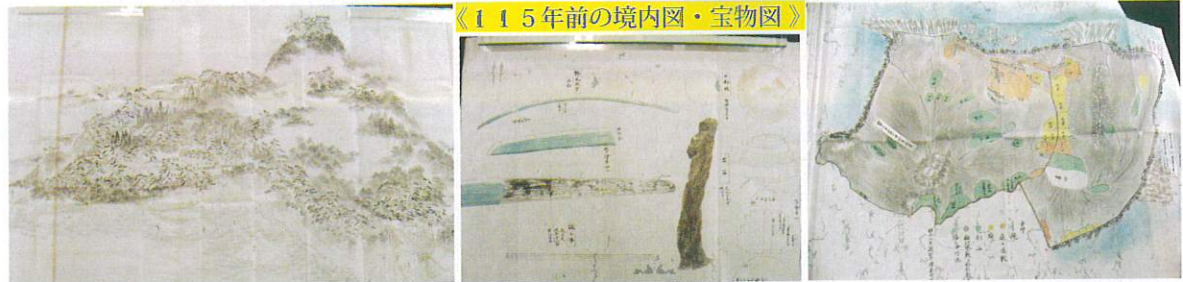
えびすの舞

外山英明
外山美都・高橋隆一郎

鈴の舞

松田朋子・湯浅七海
松野美紗紀・小室響子

《15年前の境内図・宝物図》



明治祭・秋の縁日大祭齋行

十一月三日、午前十時三十分より齋行。責任役員・総代をはじめ五十八名が参列。祭典に引き続き、奉祝行事として舞楽「蘭陵王」・「豊栄の舞」・「鵜戸さん獅子舞」が奏舞された。



七五三詣

御祭神の鎮まります洞内へと導く朱色の参道。御本殿より参道を見上げると、色鮮やかな衣装を身にまとひ、愛らしい子供達がゆつくりと歩んできます。

十一月の境内は七五三詣りの子供達で大変華やかであります。この日、串間市よりご参拝の「甲斐桃香」ちゃんご一家が御本殿に到着し、明るい笑顔でご挨拶。暖かな日差しも手伝って洞内は和やかな空気に包まれました。

七五三詣りは、生活における大切な人生儀礼です。この世に生を受け、今日までの子供の成長に感謝すると共に、今後ますます元気に成長する事、そして家族の絆をより深め合ふためのお参りでもあります。



年末点描

寅年絵馬作製

平成十一年の卯年より制作の始まった干支絵馬作りも、今年の寅年でめでたく一巡することとなりました。

この絵馬は楼門上部中央に設置され、参拝者は新年を祝ふべく絵馬の下を通り、御本殿へと足を進めます。大きさは一八〇×一二〇cmで、これを新年にふさはしい躍動感ある寅の絵へと造りあげていきました。

絵馬の掛け替へは、毎年十二月二十七日、煤払の祭典に合わせて行ひ、翌年の十二月まで設置してをりますので御参拝の節にはどうぞご覧下さい。

寅年絵馬の題字

きずな

絆

今年の題字は『絆』としました。神々と日本人の絆、また家庭の絆、地域社会の絆。私たちが今一度考へ、大切にしていゆかねばならない徳目であり



亀石しめ縄造り

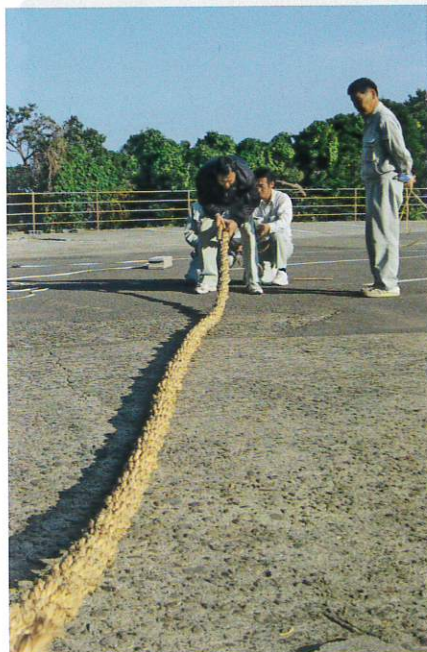
亀さんも衣替え?

十二月の境内では、新年に向けての準備で様々な動きが見受けられます。

そのひとつがしめ縄造りです。亀石のしめ縄は半年ごとに取り換へを行つてゐます。長さは七m二十cm・太さ七cm・円にした時の直径は二m三十cmの大きさになります。このしめ縄は、運玉投げをされる方にとつて運試しの境界となるため、今年もたくさんの方々に喜ばれ・憎まれ、様々な願ひ事を全身で受け止めてをります。

どうぞ、ご参拝の節には、このしめ縄に一声ねぎらいの言葉を掛けてあげて下さい。

なほ、しめ縄の取り替へは、毎年七月の初旬と十二月二十七日に執り行ひます。



社 務 日 誌 抄



古典の魅力を感じ
落語の集い

プロフィール
柳家さん枝
宮崎県新富町出身。
昭和四十二年桂文楽に入門。
昭和四十四年桂文吉で前座。
その後柳家小さんの門下と
なり、柳家さん枝で二ツ目
に昇進。
昭和五十七年柳家さん枝で
真打ちに昇進。
「時そば」「初天神」「代書屋」
「長屋の花見」など古典落語
を得意の噺として東京を中
心に活躍中。落語の魅力
を多くの方に広めてをります。

表 彰

賀 正

九月二十五日、神
社本庁において、責
任役員植野章一氏が、
敬神功労章を授与さ
れました。これは永
年の功績が認められ
たものであり、当神
宮としても大変光栄
なことであります。
心よりお祝い申し上
げます。



十一月三日、午後六時、柳家さん枝師匠により落語の集いが開催された。
普段、落語を生で聞ける機会はありませんでしたが、この日本の大切な伝統「落語」の魅力
を感じていただきたく、今回当神宮において初めての開催となつた。

柳家さん枝師匠は、当神宮の宮司とは同郷の関係であり、また永きご縁のある方で、今
回の企画を相談したところ、多忙なスケジュールの中、時間を設定いただき実現されるこ
ととなつた。

当日は、地元住民をはじめ市内外の方が多数来宮し、師匠の嘶口調や絶妙な仕草にひき
こまれ、落語のよさを肌で感じる貴重なひとときを過ごした。

柳家さん枝師匠には、多忙の中口演いただきましたことを、紙面をもちまして厚く御礼
申し上げます。

- 1月1日 歳旦祭
1月2日 初日供祭
1月3日 元始祭
1月7日 昭和天皇御陵遙
拜式
1月12日 成人祭
1月30日 鹿児島県護国神
社宮司 野村浩
平氏他1名参拜
1月31日 例祭前夜祭
2月1日 例 祭
2月1日 第37回鵜戸神宮
奉納四半的弓道
大会
2月8日 第56回剣法発祥
大会
2月12日 鵜戸山顕彰剣道
大会
2月9日 播種祭
2月12日 熊本県宮原三神
宮参拜
2月17日 樹木「スーパ
ー」奉納
2月17日 折年祭
2月17日 広島東洋カー
プ 必勝祈願参拜



- 3月29日 シャン馬道中唄
全国大会決勝
第23回シャン
ン馬道中再現
4月10日 天皇・皇后両陛
下御結婚満五十
年奉祝祭
4月13日 大阪府知事橋下
徹氏参拜
5月5日 節句祭・奉祝行
事いさみ太鼓奉
納
5月9日 北野天満宮十四
名参拜
5月16日 神奈川県大井町
町長参拜
5月25日 別当宮司先賢慰
霊祭
5月29日 鵜戸小学校一
周年生自然体験
6月8日 宗像大社養父名
誉宮司参拜
6月27日 鳥取県御机神社
参拜
7月2日 日南地区産業安
全祈願祭
7月6日 賀茂別雷神社12

- 7月16日 名参拜 賀茂別雷神社11
7月17日 抜穂祭
8月29日 生目地区神社総
代会参拜
9月13日 國學院大学上山
教授参拜
9月25日 県神社庁都城支
部参拜
10月7日 台風十八号接近
尾八重神社中
会参拜
10月14日 森今朝生氏海亀
剥製奉納
10月17日 神嘗奉祝祭
10月19日 新富町湯の宮地
区参拜
10月27日 姫路市文化財保
護協会大樹会長
他参拜
11月3日 明治祭・秋の緑
日大祭
11月3日 米良神社神楽保
存会16名参拜
11月3日 柳家さん枝師匠
「落語の集い」開
催



- 11月7日 宮内庁参拜・御
陵視察
11月12日 天皇陛下御即位
二十年奉祝奉告
祭
11月19日 海上自衛隊掃海
群演習安全祈願
参拜

- 11月23日 新嘗祭
12月23日 天長祭
12月31日 大祓式・除夜祭

命名

ご誕生おめでた
ふうごいします

宮崎市 江藤 柚李 様

(七月一日生)

福岡県 牛島 あん路様

(五月十四日生)

福岡県 牛島 萌 様

(五月十四日生)

神奈川県 吉田 直史 様

山下 美里 様

東京都 (三月二十九日)

児玉 和三 様

鶴間 範子 様

(四月四日)

宮城県

田代 修 様

針生 みのり様

鹿児島県

柳井谷 幸司様

徳永 美穂 様

兵庫県

椎名 高文 様

松山 由布子様

(九月二十二日)



二月一日は例祭です。午前十時三十分より斎行され、毎年多数の参列をいただきます。今年「蘭陵王」が奉納されます。ぜひ、ご参拝下さい。

ご結婚おめでた
ふうごいします



ご案内

六月(夏越の)大祓

六月三十日は、半年間の日常生活で知らずについてしまつた罪・けがれ(気枯れ)を祓ひとり、元気に夏を乗り切るための、古より受け継がれてゐる重要儀式「夏越の大祓」が行はれます。参列ご希望の方はお気軽にお電話下さい。
なお、遠方の方・当日参列できない方も、申込書にて参加できます。

〇九八七(二九)一〇〇一



いさみ太鼓

五月五日(こどもの日)に小学生を対象に「いさみ太鼓」が奉納されます。鵜戸神宮の情景を太鼓や笛・鈴で表現し、「子供獅子」がそれに合せて舞ひ踊ります。小学生の皆さん、鵜戸さんで楽しい思ひ出をつくりませんか。お申し込みお待ちしております。



編集後記

〇表紙の写真は、水平線よりあたたかな日差しが洞内を照らし始めたとき、ご社殿へ足を進めると、空・海・白波のくつきりとした色彩が、鮮明に目にとびこんできました。また、朝露によりまばゆく輝く境内の朱色が鮮やかに映え、空気が澄み、普段にもます神聖さを感じました。年間を通してこのような水平線に霞もなく鮮明な情景といふのはめつたに見られませんので、紹介致したく撮影しました。今年も、皆様のご参拝を職員一同心よりお待ちしております。

(高橋)